

市内9か所で「まちづくり懇談会」を開催



市は、4月23日から5月14日まで市内9か所で、「まちづくり懇談会」を開催し、延べ140人の方が参加しました。

懇談会では、市側から「宿泊交流センター整備」や「星遊館改修」、「芦別駅前広場整備」など、現在進めている主な施策や行財政改革の

取り組み、第6次芦別市総合計画の策定などの説明がありました。

意見交換では、参加者から多くの質問や意見、要望をいただき、市では、懇談会で寄せられた市民の声を令和2年度からスタートする総合計画の策定などに役立てたいと考えています。

笑いの渦に包まれた「星兄の爆笑トークショー」

環境省が認定する日本一の星空「長野県阿智村」を拠点に全国各地で星座解説の公演を行う星兄さんを招き、5月16日、芦別市民会館中ホールで「星兄の爆笑トークショー」が行われました。

これは、芦別観光協会の主催により5月16日から19日にかけて開

催された「2019 星空の街 あしべつ 31星楽祭」の一環として行われたものです。

当日は、会場のスクリーンに四季の星空を再現し、星座の見つけ方や星にまつわる話を楽しく解説。軽妙な語り口に会場はしばしば笑いの渦に包まれていました。



林業を知り木に親しむ元気森森まつり、大勢の人でにぎわう



5月18日と19日の2日間、道の駅スタープラザ芦別内の特設会場で「第16回芦別林産フェスティバル元気森森まつり」が開催されました。

これは芦別の林業を広く市内外の人に紹介し理解を深めてもらおうと、林業関連団体の主催により毎年行われているもの。

2日間とも晴天に恵まれ、会場では、朝採りのフキやウドなど新鮮な山菜や芦別産の木材を使ったミニラック、いすなどが即売され人気を集めていました。また、子供たちは丸太切りや木の魚釣りに挑戦するなどして、会場は終日にぎわいを見せていました。

産業遺産巡りで往時の生活や地域の歴史に思いを馳せる

芦別でかつて栄えた産業遺跡を訪れ、地域の歴史を身近に感じてもらうと、5月18日、星の降る里百年記念館の主催により「産業遺産巡り」が行われ19人の方が参加しました。

当日は、旧三井芦別炭鉱の原炭ポケットを含む選炭施設跡や第二坑鉱務所跡、旧三菱炭鉱のレンガ造りの旧社宅などのほか、現在も露天坑を

操業している旧高根炭鉱の採掘現場も見学。

露天坑では、谷底で大型重機が作業する光景を見て、「すごい」と感嘆の声が上がっていました。また、残された施設跡を前に「懐かしい」と話す人もいるなど、それぞれ往時の生活や地域の歴史に思いを馳せていました。

